



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社立花エレクトック 上場取引所 東  
コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	170,776	1.3	8,664	19.5	9,344	17.8	6,470	15.2
2023年3月期第3四半期	168,642	21.0	7,248	64.3	7,931	59.7	5,616	61.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,087百万円(45.6%) 2023年3月期第3四半期 6,242百万円(99.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	264.23	—
2023年3月期第3四半期	224.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	172,956	88,969	51.4
2023年3月期	153,635	84,641	55.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 88,969百万円 2023年3月期 84,641百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,000	△0.6	10,400	0.8	11,000	△0.0	7,500	△4.3	306.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	25,025,242株	2023年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	838,851株	2023年3月期	46,921株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	24,489,592株	2023年3月期3Q	24,978,317株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済社会活動の回復を反映して、個人消費や設備投資の持ち直しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化や中国経済の先行き懸念、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、ロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズを捉えたソリューション提案や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の普及に取り組んでいます。足元で物不足が改善傾向にあるものの、いまだ一部の製品においては供給が滞っている中で、仕入先からの協力・支援を得て在庫確保に注力し、業績を確保することに努めました。また、当社企業グループの高い技術力を発信する活動として、昨年11月には「EdgeTech+2023」に出展して、お客様の現場の課題解決に注力いたしました。一方、経営面においても利益生産性の向上を図るべくデジタル化を推し進めて業務の合理化・効率化にも取り組んでおります。

以上の背景から、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,707億76百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益86億64百万円（前年同期比19.5%増）、経常利益93億44百万円（前年同期比17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益64億70百万円（前年同期比15.2%増）で、売上高、各利益ともに第3四半期として過去最高の結果となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

## 〔F Aシステム事業〕

売上高：871億74百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益：48億95百万円（前年同期比18.5%増）

F A機器分野では、半導体製造装置関連、物流関連、食品関連の設備投資案件が好調に推移しました。一部の機種を除いて製品供給が正常化に向かったこともあり、高水準の受注残にも支えられ、プログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボが大きく増加しました。また、低圧配電制御機器が増加し、システム案件についても好調に推移しました。産業機械分野では自動化設備が堅調に推移しました。鉄鋼プラント向けの大型設備投資案件の獲得も売上に貢献いたしました。一方、産業デバイスコンポーネント分野では、ネットワーク機器や接続機器が減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比5.0%の増加となり、第3四半期として過去最高となりました。

## 〔半導体デバイス事業〕

売上高：654億98百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益：36億円（前年同期比14.2%増）

半導体デバイス事業では、一部製品を除き需給バランスの改善が見られ、マイコン、メモリー、パワー半導体をはじめとする半導体素子は国内外ともに前期並みの売り上げを確保しました。一方、電子デバイス分野では、液晶、コネクタなどが減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比5.1%の減少となりました。

## 〔施設事業〕

売上高：141億50百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益：1億98百万円（前年同期は2百万円の損失）

施設事業では、データセンターや大型再開発案件向け受配電設備、集合住宅向け昇降機、物流倉庫施設関連での空調設備が増加しました。リニューアルでは、LED照明を主体に空調機更新需要もあり、大幅に増加しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比14.9%の増加となり、第3四半期として過去最高となりました。

## 〔その他〕

売上高：39億53百万円（前年同期比7.1%減）、営業損失：29百万円（前年同期は34百万円の損失）

MMS分野では、主力の立体駐車場向け部材は増加したものの、物流向けスチールラックは物流倉庫案件の計画変更等の影響を受けて減少するとともに、金属部材の価格高騰と円安の影響を受けて、利益確保は厳しい状況でありました。EMS分野では、家電向け液晶基板ビジネスが好調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比7.1%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて193億20百万円増加の1,729億56百万円となりました。この主な要因は、棚卸資産の増加122億8百万円、投資有価証券の増加26億40百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて149億92百万円増加の839億86百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加90億33百万円、支払手形及び買掛金の増加55億60百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて43億28百万円増加の889億69百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加40億7百万円、自己株式の取得による減少22億95百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月7日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,596	11,266
受取手形、売掛金及び契約資産	74,428	75,571
棚卸資産	34,010	46,218
その他	4,553	7,357
貸倒引当金	△65	△147
流動資産合計	124,523	140,266
固定資産		
有形固定資産	5,474	6,026
無形固定資産	649	877
投資その他の資産		
投資有価証券	20,675	23,315
退職給付に係る資産	1,205	1,206
その他	1,186	1,339
貸倒引当金	△80	△76
投資その他の資産合計	22,987	25,785
固定資産合計	29,112	32,689
資産合計	153,635	172,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,833	55,393
短期借入金	6,792	15,825
未払法人税等	2,288	1,071
賞与引当金	1,695	979
その他	5,219	6,686
流動負債合計	65,829	79,955
固定負債		
長期借入金	89	22
退職給付に係る負債	616	634
その他	2,459	3,374
固定負債合計	3,165	4,031
負債合計	68,994	83,986

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	65,057	69,065
自己株式	△58	△2,353
株主資本合計	77,020	78,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,716	7,507
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	1,469	2,373
退職給付に係る調整累計額	435	359
その他の包括利益累計額合計	7,620	10,236
純資産合計	84,641	88,969
負債純資産合計	153,635	172,956

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	168,642	170,776
売上原価	146,184	146,460
売上総利益	22,457	24,316
販売費及び一般管理費	15,209	15,651
営業利益	7,248	8,664
営業外収益		
受取利息	53	44
受取配当金	337	391
為替差益	201	235
その他	139	128
営業外収益合計	731	800
営業外費用		
支払利息	28	63
自己株式取得費用	—	39
その他	20	18
営業外費用合計	48	121
経常利益	7,931	9,344
特別利益		
投資有価証券売却益	170	9
特別利益合計	170	9
特別損失		
投資有価証券評価損	—	36
貸倒引当金繰入額	—	81
特別損失合計	—	118
税金等調整前四半期純利益	8,102	9,234
法人税等	2,486	2,764
四半期純利益	5,616	6,470
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,616	6,470

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,616	6,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△799	1,790
繰延ヘッジ損益	△11	△1
為替換算調整勘定	1,511	903
退職給付に係る調整額	△75	△76
その他の包括利益合計	625	2,616
四半期包括利益	6,242	9,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,242	9,087
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式791,500株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が22億95百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が23億53百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	79,544	42,626	12,314	134,485	3,714	138,200	—	138,200
アジア他	3,500	26,401	—	29,901	539	30,441	—	30,441
顧客との契約から 生じる収益	83,045	69,027	12,314	164,387	4,254	168,642	—	168,642
外部顧客への売上高	83,045	69,027	12,314	164,387	4,254	168,642	—	168,642
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	83,045	69,027	12,314	164,387	4,254	168,642	—	168,642
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	4,132	3,152	△2	7,283	△34	7,248	—	7,248

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	84,068	41,902	14,150	140,122	3,818	143,941	—	143,941
アジア他	3,106	23,595	—	26,701	134	26,835	—	26,835
顧客との契約から 生じる収益	87,174	65,498	14,150	166,823	3,953	170,776	—	170,776
外部顧客への売上高	87,174	65,498	14,150	166,823	3,953	170,776	—	170,776
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	87,174	65,498	14,150	166,823	3,953	170,776	—	170,776
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	4,895	3,600	198	8,694	△29	8,664	—	8,664

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。